

項 目		第2回推進委員会でのご意見	先を踏まえた要綱改正案	変更前	変更後
1	申請様式	現行の申請書は、新規提案が前提の内容となっており、団体側として分かりづらい。 「新規提案」と「再提案(継続)」では、申請書を別に分けたほうが良いのでは。	1つの様式を「新規提案用」「再提案用」の2つに分け、様式を追加。 ・阪南市市民協働・共創事業提案申込書(新規提案用) ・阪南市市民協働・共創事業提案申込書(再提案用)	・阪南市市民協働・共創事業提案申込書	・阪南市市民協働・共創事業提案申込書(新規提案用) ・阪南市市民協働・共創事業提案申込書(再提案用)
2	企画書	3年目の目標(課題に対して何をどのように解決するのか数値目標等)について団体にとって「3年目」となると限らないため、「3年」を「最終年度」としてはどうか。	「3年目の目標(課題に対して何をどのように解決するのか数値目標等)について」の項目について 「3年」を「最終年度」に変更	3年目の目標(課題に対して何をどのように解決するのか数値目標等)について	最終年度の目標(課題に対して何をどのように解決するのか数値目標等)について併せて、様式追加にともない以降すべて「号ずれ」
3	企画書	継続事業の場合、団体にとってそれぞれ「1～3年目」は異なるため、団体に記入用に「〇年」としてはどうか。	「1年目」、「2年目」、「3年目」から「1年目(年)」、「2年目(年)」、「3年目(年)」に変更	「1年目」、「2年目」、「3年目」	「1年目」、「2年目」、「3年目」から「1年目(年)」、「2年目(年)」、「3年目(年)」に変更 ※空白には、団体として、阪南市市民協働事業提案制度に取り組む年数を記入してください。
4	企画書	既存事業について何をもちて評価するのか、現在の申請書では、プラスアルファ加えた創意工夫点を評価しづらい。	項目追加	項目追加	これまでの事業評価を踏まえた、改善点及び課題の解決方法・改善点(前回の提案から創意工夫した点)：
4	その他		様式変更に伴い、第8条に「第2項」を追加。	第8条 提案制度に提案しようとする団体等(以下「提案団体」という。)は、次に掲げる書類を市長に提出しなければならない。 (1) 阪南市市民協働・共創事業提案申込書(様式第1号) (2) 阪南市市民協働・共創事業企画書(様式第2号) (3) 団体概要書(様式第3号) (4) 定款、規約又は会則その他これらに類するもの (5) 役員名簿 (6) 団体の経営状況を示す資料 (7) 団体の活動状況を示す資料 (8) その他市長が必要と認める書類	第8条 新たに提案制度に提案しようとする団体等(以下「提案団体」という。)は、次に掲げる書類を市長に提出しなければならない。 2 過去に提案制度の採択を受けた事業を改めて提案しようとする団体等(以下「提案団体」という。)は、次に掲げる書類を市長に提出しなければならない。 (1) 阪南市市民協働・共創事業提案申込書(新規提案用)(様式第1号) (2) 阪南市市民協働・共創事業企画書(様式第3号) (3) 団体概要書(様式第4号) (4) 定款、規約又は会則その他これらに類するもの (5) 役員名簿 (6) 団体の経営状況を示す資料 (7) 団体の活動状況を示す資料 (8) その他市長が必要と認める書類